

中間評価（表紙）

長野市歴史的風致維持向上計画（平成25年4月11日認定）
中間評価（令和元年度）

■ 統括シート（様式1）	2
■ 方針別シート（様式2）	
I 歴史的建造物の保全と活用	3
II 伝統技術の継承	4
III 歴史的まちなみと周辺環境の保全	5
IV 伝統的な祭礼等の継承	6
V 文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光振興や情報発信	7
VI 歴史的建造物やまちなみ、伝統的な祭礼等の調査研究	8
■ 波及効果別シート（様式3）	
i 長野県内の歴史的まちづくりネットワークの構築	9
■ 代表的な事業の質シート（様式4）	
A 善光寺周辺地域道路美装化事業	10
B 旧文武学校保存整備事業	11
C 「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業	12
■ 歴史的風致別シート（様式5）	
1 善光寺御開帳にみる歴史的風致	13
2 弥栄神社の御祭礼にみる歴史的風致	14
3 善光寺周辺寺社の祭礼にみる歴史的風致	15
4 戸隠神社の式年大祭にみる歴史的風致	16
5 戸隠信仰と戸隠古道にみる歴史的風致	17
6 水路と庭園にみる松代城下町の歴史的風致	18
7 祭礼にみる松代城下町の歴史的風致	19
8 大室古墳群にみる歴史的風致	20
9 街道と川田宿にみる歴史的風致	21
10 白髭神社と祭礼にみる歴史的風致	22
11 鬼無里神社の祭礼と町屋にみる歴史的風致	23
12 諏訪神社の御柱祭にみる歴史的風致	24
■ 庁内体制シート（様式6）	25
■ 住民評価（様式7）	26
■ 協議会意見シート（様式7）	27
■ 全体の課題・対応シート（様式8）	28

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
① 歴史的風致			
	歴史的風致	対応する方針	
1	善光寺御開帳にみる歴史的風致	I, II, III, IV, V	
2	弥栄神社の御祭礼にみる歴史的風致	III, IV, V, VI	
3	善光寺周辺寺社の祭礼にみる歴史的風致	IV, V, VI	
4	戸隠神社の式年大祭にみる歴史的風致	I, II, III, IV, V, VI	
5	戸隠信仰と戸隠古道にみる歴史的風致	I, II, III, V, VI	
6	水路と庭園にみる松代城下町の歴史的風致	I, II, III, VI	
7	祭礼にみる松代城下町の歴史的風致	I, IV, V	
8	大室古墳群にみる歴史的風致	V, VI	
9	街道と川田宿にみる歴史的風致	I, IV, V	
10	白髯神社の祭礼にみる歴史的風致	IV, V	
11	鬼無里神社の祭礼と町屋にみる歴史的風致	I, II, III, IV, V	
12	諏訪神社の御柱祭にみる歴史的風致	IV, V	
② 歴史的風致の維持向上に関する方針			
	方針		
I	歴史的建造物の保全と活用		
II	伝統技術の継承		
III	歴史的まちなみと周辺環境の保全		
IV	伝統的な祭礼等の継承		
V	文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光振興や情報発信		
VI	歴史的建造物やまちなみ、統的な祭礼等の調査研究		
③ 歴史まちづくりの波及効果			
	効果		
i	長野県内の歴史的まちづくりネットワークの構築		
④ 代表的な事業			
	取り組み	事業の種別	
A	善光寺周辺地域道路美装化事業	歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
B	旧文武学校保存整備事業	歴史的風致維持向上施設の整備・管理	
C	「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業	歴史的資源を活用した観光振興や情報発信	

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
方針	I 歴史的建造物の保全と活用	今後の対応	施策拡充

① 課題と方針の概要

歴史的建造物の修理には多額な費用を要することもあり、適切な維持管理が行われないまま老朽化や滅失が進んでいる。また、空き家となっているものも多く、十分に活用されているとは言い難い。

歴史的風致の核となる建造物を「歴史的風致形成建造物」に指定することにより、滅失の防止及び修理等に対する支援を行うなどの保護措置を講じるとともに、まちづくり活動を行う地元組織等と連携しながら、空き家に関する情報共有を行い、利活用について検討を行う。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	戸隠地域建造物修理修景助成事業	11件の修理助成	あり	H29～R4
2	歴史的風致形成建造物修理助成事業	6件の指定、6件の修理助成	あり	H26～28
3	伝統環境保存事業	修理・修景に対する指導、96件の助成	あり	S59～
4	旧文武学校保存整備事業	保存整備、利活用のための環境整備	あり	H23～R2
5	松代町文化財保存活用推進事業	文化財施設を活用したボランティア活動の促進	あり	H25～

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

老朽化が進んだ茅葺き屋根の建造物等を「歴史的風致形成建造物」に指定し、修理に対する支援を行うことで、適切な維持管理が図られ、それらを核とした戸隠神社中社・宝光社門前の町並みが、重要伝統的建造物群保存地区に選定された。それにより、保存地区内の建造物等の修理・修景に対する補助金の交付など、歴史的建造物の保全に向けた支援体制が整えられた。また、歴史的な町並みや文化が残る伝統的建造物群保存地区を活用した地域住民のまちづくり活動が活発化している。

伝統環境保存区域である松代地区の表柴町、代官町、馬場町、竹山町において、建造物や庭園等の修理・修景に対して指導・助成することで、歴史的な建造物や地域の歴史的風致の核となる泉水・泉水路の適切な維持管理が図られた。



戸隠伝統的建造物群保存地区のまちなみ



文化財施設を活用したボランティア活動の様子

④ 自己評価

歴史的風致形成建造物の指定や伝統的建造物群保存地区の決定などにより、歴史的建造物の保護措置を講じることができたが、対象とならない建造物も多く、対策は十分ではない。

また、歴史的建造物を活用したインバウンド対策など、歴史的建造物を活用することによる歴史的風致の維持向上を推進した。

⑤ 今後の対応

引き続き歴史的建造物の活用や滅失防止について、地域住民と勉強会を実施するなどして連携を深めるとともに、歴史的風致形成建造物に限らず、登録有形文化財への登録の動きを促す。

歴史的建造物の空き家情報をより広く提供するとともに、インバウンドを含む観光客の誘致につなげるなど、地域住民と連携しながら歴史的建造物の積極的な活用を推進する。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
方針	Ⅱ 伝統技術の継承	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

歴史的建造物を修理・修復するための伝統技術が失われている。また、茅葺き屋根の歴史的建造物を安定的に維持していくため、茅材の確保とそれを支える伝統技術の継承に課題がある。
 伝統技術を用いた仕事の間を提供するとともに、住民や職人等と連携して伝統技術を継承するための仕組みをつくる。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	戸隠茅場整備事業	茅材を確保し、茅場として整備	あり	H26～R4
2	戸隠地域建造物修理修景助成事業	11件の修理助成	あり	H29～R4
3	伝統環境保存事業	修理・修景に対する指導、96件の助成	あり	S59～

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

戸隠中社・宝光社地区が重要伝統的建造物群保存地区に選定され、地区内の建造物の修理・修景等を行う保存事業が始まった。それにより、大工・左官・曳屋・茅葺などの伝統技術を用いた仕事の間が増加し、伝統技術の継承に大きく寄与している。また、茅葺職人が市外から移住し、保存事業に関わっている。

なお、伝統的な茅葺屋根に使用する茅材を地域内で確保するため、地域住民を中心に学生や市民ボランティアを募った茅刈りを実施し、茅刈り技術の習得、継承が図られた。

伝統環境保存区域においては、建造物や庭園等の修理・修景に対して指導・助成することで伝統技術を用いた仕事の間が提供されている。



伝統技術を活用した修理事業



茅刈りの様子

④ 自己評価

戸隠地区においては、地域住民を中心に毎年茅刈りを行っているが、地区内の茅葺屋根の修理に必要な茅材を全てまかなえるほどの量は確保できていない。

また、歴史的建造物の修理等に対する助成制度により、伝統技術を要する修理が毎年数件ずつ実施され、伝統技術の継承に寄与している。

⑤ 今後の対応

戸隠地区における茅葺屋根の修理に必要な茅材を地元産で確保できるよう、地域住民やボランティアの参加者を増やし、茅刈りに係る伝統技術の継承と普及を図る。

引き続き、伝統的建造物群保存地区及び伝統環境保存区域における保存事業を継続的に進め、伝統技術の継承のための場づくりを支援していく。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
方針	Ⅲ 歴史的まちなみと周辺環境の保全	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

連続性を有した歴史的まちなみの保護と、来訪者数に見合った駐車場の確保という二つの課題がある。

まちなみや景観に関する調査研究を行い、住民の理解と協力を得ながら、伝統的建造物群保存地区や文化的景観の制度等を活用し、歴史的風致の維持及び向上を図る。また、歴史的環境を向上させるため、電柱電線類の地中化や移設、道路の美装化等を推進するとともに、歴史的風致を阻害しないアクセス駐車場の整備するなど、自動車交通の抑制対策を総合的に検討する。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	善光寺周辺地域電線類地中化事業	道路の眺望景観の向上	あり	H17～R2
2	中央通り歩行者優先道路化事業	歩道空間の機能充実と景観の向上	あり	H22～26
3	戸隠地区伝統的建造物群保存対策調査事業	伝統的建造物群保存対策調査の実施	あり	H26～27
4	松代城跡東側駐車場整備事業	アクセス駐車場の整備	あり	H25～R4
5	松代城下町歴史的建造物・庭園調査事業	悉皆分布調査、詳細調査、活用法提案	あり	H22～26

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

善光寺門前の仲見世や宿坊群の路線において、電線類の地中化、石畳舗装を行い、良好な景観形成が図られた。

また、中央通り(善光寺表参道)において、善光寺の参道の雰囲気に合わせて石畳舗装を行い、周辺の歴史的建造物と一体となった沿道空間を確保するとともに、歩道の拡幅を行い、歩行者にとっての道路空間の魅力向上と機能充実が図られた。

戸隠中社・宝光社地区において、伝統的な宿坊建築を中心に保存対策調査を実施し、調査成果により国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。また、保存計画に基づいた保存事業を実施することで、歴史的風致の維持向上が図られた。



中央通り歩行者優先道路化



ながの花回廊開催時の様子

④ 自己評価

電線類地中化、道路美装化、歩道拡幅等による歴史的建造物と一体となった良好な景観形成を図るとともに、来訪者の利便性向上のためのアクセス駐車場の設置を検討しており、歴史的風致の維持向上に寄与する施策が進展した。

また、まちなみに関する調査研究に基づき、戸隠地区が重要伝統的建造物群保存地区に選定され、住民と行政の共同による質の高い歴史まちづくりを展開している。

⑤ 今後の対応

引き続き、無電柱化や道路美装化を進め、良好な景観形成を推進するとともに、様々な制度を活用し、歴史的風致の維持向上を図る。

また、引き続き、歴史的風致を阻害しないアクセス駐車場の整備について、関係課及び地域住民と検討する。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
方針	IV 伝統的な祭礼等の継承	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

伝統的な祭礼等は、人口減少や少子高齢化などにより担い手が不足し、継承が危ぶまれている祭礼・行事もある。

地域住民や専門家等と連携しながら、伝統的な祭礼等の内容や特色、実施日等の把握を行い、担い手の確保や育成等に取り組む。また、子ども達が伝統的な祭礼に触れる場を提供するなど、地域ごとの取り組みを支援する。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	無形文化財支援事業	保存・公開に対する支援	あり	H25～R4
2	伝統芸能継承事業	保存・継承団体に対する支援	あり	H28～R4
3	弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業	屋台巡行のための補助	あり	H25～R4
4	鬼無里地域の伝統的祭礼等PR事業	祭礼の積極的情報発信	あり	H25～R4

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

伝統芸能の技術を継承する団体に対し、用具の修理・更新、子供用具の購入、外部講師謝礼、体験教室の開催費用、指導用DVDの作成等に対し助成を行うとともに、各団体間の交流や子供の参加を促すイベントの開催、活動団体の情報発信等を行い、郷土の伝統芸能の保存、継承につながった。

また、市内の獅子舞団体が結集して演舞する「ながの獅子舞フェスティバル」には80団体以上が参加し、市民が伝統文化に親しむ機会が提供された。

弥栄神社の御祭礼屋台巡行への参加者が減少しているため、関係各町の屋台の保管状況調査を行い、現状を確認した上で参加を促し、屋台や祭礼用具の組立解体、補修等に対する補助を実施した。屋台巡行への支援を行うことで担い手の確保や育成につながった。



ながの獅子舞フェスティバル



屋台組み立て状況（問御所町）

④ 自己評価

活動団体への助成や伝統芸能の新たな披露の場の提供などにより、地域の活性化や担い手の確保、育成が進められているが、容易に解決できる問題ではないため、継続的に対応することが必要である。

⑤ 今後の対応

引き続き、各団体への支援を行うとともに、団体間の交流や子ども達の参加を促すイベントの開催、活動団体等の情報発信を行い、担い手の確保や育成を進める。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
方針	V文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光振興や情報発信	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

本市の魅力であり観光資源である数多くの文化財や伝統的な祭礼等の価値が十分に情報発信されているとは言い難い。

文化財の所有者や関係団体と連携し、文化財や歴史的風致の保存と併せて、その価値や魅力を引き出すことを意図した情報発信を積極的に行い、文化財を活かした観光振興に繋げていく。また、歩行者用案内板や説明板等を整備して歩行者環境を充実させるためのルートづくりを行い、文化財をめぐる機会等の充実を図る。

② 事業・取り組みの進捗

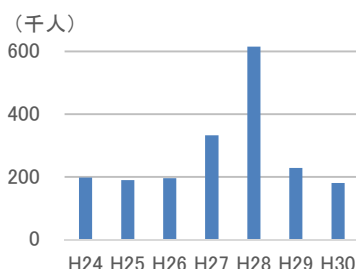
	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	松代町文化財保存活用推進事業	真田宝物館ホームページの多言語化	あり	H25～R4
2	松代歴史文化の発信・誘客事業	地元団体による誘客事業等への補助	あり	H22～R4
3	日本文化体験プログラム開発事業	体験プログラムの磨き上げ	あり	H30～R1
4	「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業	ホームページによる情報発信	あり	H25～R4
5	鬼無里地域の伝統的な祭礼等PR事業	ホームページ・SNSによる情報発信	あり	H25～R4

③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

住民主体で地域の歴史文化情報発信や誘客事業を実施することで、住民による誘客等のスキルアップのみならず、歴史文化に対する愛着や知識も深まっている。

文化財施設の中核施設である真田宝物館のホームページ及び文化財施設間の繋がりを紹介したルート等を多言語対応することにより、インバウンドに対する情報発信の充実が図られた。

鬼無里ふるさと資料館で公開されている「彫工北村喜代松」制作の屋台を実際に巡行している祭礼について、ホームページやツイッターで情報発信することにより、祭礼当日は多くの人で賑わった。



松代地区施設の入場者数の変化



鬼無里観光振興会ツイッターによる祭礼の周知

④ 自己評価

文化財や伝統的な祭礼等の価値や魅力について、それぞれの地域・団体等で情報発信を行うとともに、文化財や歴史的風致を活用した体験プログラムの開発やホームページの多言語化など、インバウンドにも対応した観光振興を展開している。また、情報発信拠点整備や、文化財をめぐる新たな周遊ルートの整備、新規ルート整備に向けた協議も進展している。

⑤ 今後の対応

引き続き、文化財の所有者や関係団体と連携し、多言語化を含めた積極的な情報発信を推進するとともに、文化財をめぐる新たな周遊ルートの整備等を実施する。

また、今後大幅な増加が期待されるインバウンドを含め、あらゆる層に対して魅力的な情報発信の方策を検討し、観光振興や地域の活性化につなげる。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
方針	Ⅵ 歴史的建造物やまちなみ、伝統的な祭礼等の調査研究	今後の対応	継続展開

① 課題と方針の概要

未だに価値が明らかになっていない歴史的価値の高い建造物が多数存在しており、特に近年合併した地域においては、歴史的建造物や伝統的な祭礼等を対象とする調査が実施されておらず、歴史的風致を維持向上するための重要な建造物や祭礼が不明瞭な状況である。

歴史的まちなみの形成や伝統的な祭礼等の継承について、全国的な視点から価値付けを行うとともに、後世に引き継ぐための問題点等を明らかにし、その対策を施せるよう、地域住民との協働により長期的視点から総合的な調査を継続的に行う。

② 事業・取り組みの進捗

	項目	推移	計画への位置付け	年度
1	歴史的資源活用コーディネーター派遣事業	外部の専門家・有識者を派遣	あり	H26～R4
2	戸隠古道現状調査事業	調査及び整備	あり	H25～27
3	戸隠地区伝統的建造物群保存対策調査事業	保存地区決定に向けた保存対策調査	あり	H26～27
4	史跡松代城跡保存整備調査研究事業	旧城跡の公有地化・復元整備のための調査研究	あり	H25
5	松代城下町歴史的建造物・庭園調査事業	悉皆調査・詳細調査、管理活用方法提案	あり	H22～26

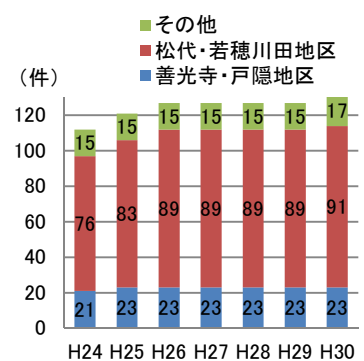
③ 課題解決・方針達成の経緯と成果

戸隠中社・宝光社地区の宿坊や民家等の建築物、石垣等の工作物、生垣や庭園、水路等の環境物件の調査を実施し、歴史的価値が明らかになった。調査を通して地域の歴史や文化に対する住民の理解が促進され、伝統的建造物群保存地区及び保存計画の決定につながった。



保存対策調査の様子

昭和56年に指定された史跡松代城跡の南側の復元整備を検討するため、平成25年に調査研究を進め、平成27年に史跡指定範囲が拡大された。これにより、松代地区の中核拠点として利活用を含めた松代城跡第2期整備計画の策定と旧城郭域の公有地化が実施され、保存整備が進められている。



④ 自己評価

地域に残る歴史的建造物等の調査を行い、その価値が明らかになることで、地域の歴史や文化に対する住民の理解を促進するとともに、歴史的風致の維持及び向上に資する事業展開につながっている。

⑤ 今後の対応

調査時点から一定期間が経過したものについては、必要に応じて再調査するなど、継続的に対応する。

未調査の歴史的建造物や伝統的な祭礼について、地域住民の協力のもと、計画的な調査を実施する。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
効果	i 長野県内の歴史的まちづくりネットワークの構築		

① 効果の概要

信州の歴史的まちなみネットワークが構築され、活動を開始した。

② 関連する取り組み・計画

	他の計画・制度	連携の位置づけ	年度
1	歴史まちづくりの全国大会の実施	なし	H30
2	松代歴史文化の発信・誘客事業	あり	H22～R4
3	信州の歴史的まちなみネットワーク規約	なし	R1～

③ 効果発現の経緯と成果

・計画の重点区域において歴史文化の発信・誘客事業を展開しているNPO法人が中心となり、歴史まちづくりの全国大会を平成30年に開催した。

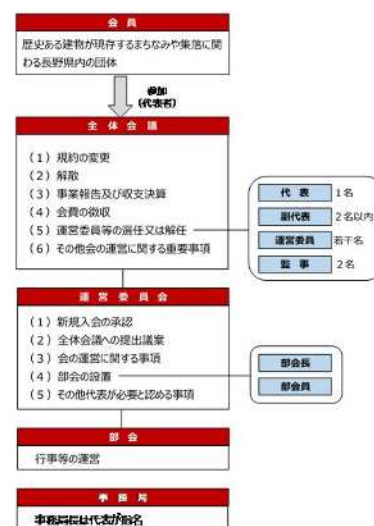
全国大会には当該NPO法人を中心に、地元住民や商工会議所、地元の小学校や大学等、幅広い組織・個人が協力して歴史的風致の維持向上に関する情報交換を行い、課題などを明確化した。



歴史まちづくり全国大会の様子

・全国大会の開催を機に、歴史まちづくりの課題解決を図るための情報交換を目的のひとつとして、長野県内まちづくり22団体を構成する「信州の歴史的まちなみネットワーク」を構築し、規約、組織構成、活動方針を定めた。今後は、活動方針に基づき、県内各地で活動するまちづくり団体が集い、歴史まちづくりに関する課題や方針などについて情報交換を行うほか、NPO法人全国町並み保存連盟北陸甲信越ブロックとも連携し、広域的な視点で歴史的風致を維持向上するための活動を展開する。

信州の歴史的まちなみネットワーク 組織図





ネットワーク組織図



④ 自己評価

計画の重点区域において歴史文化の発信・誘客事業を行っているNPO法人が、地区内外の個人や団体と連携して歴史まちづくりの全国大会を開催し、歴史的風致維持向上の気運を高めた。これを機に、それまで連携が薄かった県内まちづくり諸団体のネットワークが構築され、広域的な視点で歴史的風致維持向上が実現しつつある。

⑤ 今後の対応

歴史的まちなみの喪失をはじめ、各地で抱えている歴史まちづくりに関する深刻な課題を解消するため、情報を共有して議論を深め、問題解決のための具体的な対応策を構築し、広域的に歴史的風致維持向上を実現する。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
取り組み	A 善光寺周辺地域道路美装化事業	種別	歴史的風致維持向上施設
<p>① 取り組み概要</p> <p>善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成される釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、阿闍梨池通り及び御幸坂通りにおいて、周囲の景観に調和した舗装整備（石畳舗装または石畳風舗装）を行うもの。</p> <p>◎令和元年度までの実績</p> <p>実施済みL=1,030m／計画延長L=1,516m（進捗率68%）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25年度 地元協議（石畳舗装の仕様を決定） ・H26年度 仁王門通り・釈迦堂小路 L=130m ・H27年度 法然通り・羅漢小路 L=169m、釈迦堂通り L=72m ・H28年度 釈迦堂通り L=60m、阿闍梨池通り L=58m ・H29年度 阿闍梨池通り L=71m 上西之門通り・仁王門通り L=166m ・H30年度 御幸坂通り 測量設計 地元協議（石畳舗装の仕様を決定） ・R元年度 御幸坂通り一部着手 		 <p>法然通り（整備前）</p>  <p>法然通り（整備後）</p>	
<p>② 自己評価</p> <p>善光寺門前の歴史的な建造物が多く残る院坊界隈の景観を向上させるため、整備方針に基づき電線類の地中化をした上で、石畳舗装等による道路美装化を実施するとともに、カーブミラーを環境色（茶系）の支柱のものに交換するなど、道路管理者をはじめ地元まちづくり協議会や地域住民と協議を重ね、民意の反映に努めながら事業を推進し、令和2年度の完了に向けて予定どおり進捗している。</p>			
外部有識者名	大上俊之（長野市景観審議会委員）		
外部評価実施日	令和元年10月29日（火）		
<p>③ 有識者コメント</p> <p>無電柱化を含む舗装整備によって通りの景観がすっきりし、宿坊や仲見世等の歴史的な建造物が連なる善光寺門前の歴史的街並みの景観が向上した。一方で、景観が整理されたことにより、既存の看板等が目立つようになったため、住民との協働による対応を検討していただくと、より景観の向上が図られると思う。</p> <p>また、これから実施される城山公園の整備と連携し、善光寺と周辺環境が一体となった景観となるよう整備し、院坊界隈の魅力を発信することで、城山公園や善光寺北側駐車場からの来訪者を宿坊や仲見世、参道周辺まで誘導できるようになると、景観の向上をきっかけに回遊性の向上が図られると思われる。</p>			
<p>④ 今後の対応</p> <p>善光寺門前の歴史的な景観を向上させるため、長野北98号線（御幸坂通り）及び長野北236号線（歩道部）の道路美装化を引き続き進めるとともに、城山公園の整備とも連携し、善光寺と周辺環境が一体となった景観形成を図る。</p> <p>また、善光寺周辺地域における回遊性の向上と情報発信の方法について、地元まちづくり協議会と検討する。</p>			

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
取り組み	B 旧文武学校保存整備事業	種別	歴史的風致維持向上施設
<p>① 取り組み概要</p> <p>松代藩の藩校として、安政2年（1855）に開校した史跡旧文武学校は、松代城下町の歴史を伝える重要拠点であるとともに、善光寺御開帳では、回向柱が安置される場所でもある。経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で平成23年度より保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な利活用を促進するための環境整備を行うもの。</p>		 <p>旧文武学校の全体イメージ</p>	
<p>◎令和元年度までの実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度 一部解体工事 ・平成24～28年度 耐震診断業務及び実施設計業務 ・平成25～令和元年度 保存修理工事（耐震補強工事含む） ・平成29年度 保存活用計画策定 ・平成30年度 展示整備に係る実施設計業務 ・令和元年度 展示整備 ・令和2年度 一般公開再開（予定） 		 <p>保存修理の様子</p>	
<p>② 自己評価</p> <p>生涯学習や観光の拠点として積極的に利活用するため、適切な建造物の保存修理と併せて耐震補強も実施した。工事期間中は、普段は見るできない文化財の内部構造を見ることができ、貴重な機会ということで、地域住民や近隣小学校、公民館を対象とした見学会を開催するなど、文化財保護に関する周知を行った。特に、隣接する松代小学校とは、資料調査をはじめ、授業での活用、工事見学など、相互協力を行っており、地域住民の身近な文化財に対する理解を深めることができた。</p> <p>また、保存修理後のオープンに合わせて展示内容の充実を図るため、藩校という実際の学びの空間のなかで、施設の歴史や文化、当時の様子を伝え、学びや稽古を追体験できる施設として活用できるよう、先端技術の活用や多言語に対応した整備を進めることができた。</p>			
外部有識者名	多田井幸視（長野市地方文化財保護審議会委員）		
外部評価実施日	令和元年10月31日（木）		
<p>③ 有識者コメント</p> <p>保存修理について、再利用できる部材を活用した建造物の修理だけでなく、耐震補強も実施したり、展示の整備を進めるなど、適切な整備がなされている。</p> <p>また、トイレのユニバーサルデザイン化を進めるほか、文学所など車椅子対応ができない施設がある中で、タブレットによるバーチャルツアー等も検討していることは、多くの来訪者に配慮した施設となるよう整備が進められている。今後、絵図や古写真等を基に植栽や内庭の整備をしていただくと一層雰囲気が高まると思う。</p> <p>旧文武学校の保存修理事業をきっかけに、松代地区に藩校が残された背景や歴史、文化などを、学校等とも連携し、地域の子どもたちに伝えていただきたい。</p>			
<p>④ 今後の対応</p> <p>令和2年度の一般公開に向け、保存修理及び展示の整備を着実に進めるとともに、一般公開後の活用状況を確認しながら、植栽や内庭の整備等についても引き続き検討する。</p> <p>また、旧文武学校周辺の小・中学校などと連携し、教育の一環として活用できるよう検討するとともに、来訪者に地区全体を回遊していただけるよう、地区内のガイドと連携したり、周辺の文化財施設等を関連付けて紹介したホームページを活用するなど、積極的な利活用を促進する。</p>			

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
取り組み	C「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業	種別	歴史的資源を活用した観光振興や情報発信
<p>① 取り組み概要</p> <p>市有形文化財（工芸品）である「彫工北村喜代松」制作の神楽・屋台を保存するとともに、その木地を生かした「一木彫り」による透かし彫りの龍や唐獅子、牡丹など優れた技術の情報発信を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼無里ふるさと資料館における展示・公開 鬼無里ふるさと資料館において、4台の屋台（山車）と2台の神楽（太神楽）を展示・公開している。開館中は職員による展示ガイドを行うとともに、屋台のガイドブックの販売も行っている。 ・ホームページによる情報発信 市立博物館鬼無里ふるさと資料館の特設ページにて、屋台の特徴、魅力等を紹介している。また、市教育委員会の文化財データベースにて、屋台の文化財的な価値等を解説している。 ・鬼無里神社春祭りにおける活用 毎年5月鬼無里神社春の例大祭において、「彫工北村喜代松」制作の屋台を活用した屋台巡行が行われている。地区内の小・中学生からお年寄りまで多くの住民が曳き手となり、地区内を巡行している。 		 <p>鬼無里ふるさと資料館展示の様子</p>  <p>屋台巡行の様子(鬼無里神社)</p>	
<p>② 自己評価</p> <p>北村喜代松制作の屋台について、展示ガイドの実施やホームページの多言語化など、情報発信の充実だけでなく、鬼無里神社の春祭りにおいて屋台巡行を行うなど、住民の手により屋台が活用し続けられている。</p> <p>また、鬼無里神社の屋台の柱にひび割れなど損傷箇所が確認されたことから、専門家による修理方法の提案を受け、今後も屋台巡行を継続できるような手立てが住民により検討されるなど、屋台の活用を通して住民の意識の向上が図られている。</p> <p>なお、鬼無里神社の春祭りにはSNSによる情報発信を行うとともに、屋台の曳き手として来訪者の参加を受け入れるなど、地域住民だけでなく来訪者も一木彫りなどの優れた技術を間近に触れられ、歴史まちづくりに対する意識の向上が図れる貴重な機会となっている。</p>			
外部有識者名	多田井幸視（長野市地方文化財保護審議会委員）		
外部評価実施日	令和元年10月31日（木）		
<p>③ 有識者コメント</p> <p>鬼無里ふるさと資料館での展示について、屋台を様々な角度から見学できる展示方法や、職員の展示ガイドにより詳しい説明を受けられるほか、ホームページの多言語化など、来訪者に対して有効に公開されている。さらに、鬼無里神社の屋台については、展示だけでなく屋台巡行に活用されており、損傷することが避けられない中、今後も活用し続けていくために、住民により巡行ルートを改善したり、専門家の意見を聴き修理に向けた検討を進めるなど、大変すばらしい。</p> <p>また、複数の貴重な屋台を持つことができた背景となる、地区の歴史や文化、伝説等を発信するとともに、祭礼の意味を子供たちへ伝える機会をつくることや屋台巡行の曳き手を地区外からより多く呼び込むことも検討していただけると、屋台巡行を継承するための活力になるのではないかと。</p>			
<p>④ 今後の対応</p> <p>ホームページの多言語化に伴い掲載内容を工夫し、北村喜代松制作屋台を通して地区の歴史や文化等を、より多くの人に知ってもらおうとともに、ふるさと資料館に来た人に満足してもらえるよう、展示ガイドなどの取り組みを引き続き実施する。</p> <p>また、鬼無里神社の春祭りにおける屋台巡行をきっかけに、資料館に保管されている他地区の屋台についても理解が広がるような情報発信を関係者と検討する。</p>			

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
歴史的風致	1 善光寺御開帳にみる歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的建造物の保全と活用 II 伝統技術の継承 III 歴史的まちなみと周辺環境の保全 IV 伝統的な祭礼等の継承 V 文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光振興や情報発信		

① 歴史的風致の概要

善光寺では、数え年で7年に一度、前立本尊のご開帳が催されている。期間中は、「中日庭儀大法要」をはじめ、様々な法要等が行われる。

② 維持向上の経緯と成果

●善光寺周辺地域電線類地中化事業

善光寺門前の仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの6路線（計画延長940m）のうち、4路線（540m）について、電線類地中化事業を行い、善光寺周辺における良好な景観形成を推進した。



H24.6



●善光寺本堂耐震補強事業

平成22年度及び23年度に実施した国宝善光寺本堂の耐震診断では、本堂に対して行うべき耐震補強を、短期的視点からの耐震性能向上と、本堂の大規模な修繕工事に併せて行う長期的視点からの耐震性能向上に分けて提案がなされ、まずは短期的視点からの天井吊補強工事をはじめとした天井部分の落下防止対策の補強工事を実施し、参拝者に対する安全確保が図られた。



無電柱化・道路美装化 H28.5

●中央通り歩行者優先道路化事業

回向柱の奉納行列が練り歩く善光寺の参道である中央通り（700m）について、善光寺の参道の雰囲気合わせた石畳舗装を行い、歩道の拡幅を行うことで、道路空間の魅力が向上した。



善光寺御開帳 回向柱奉納 H27.3

③ 自己評価

善光寺本堂耐震補強事業や善光寺経蔵保存修理事業など、歴史的建造物の保存修理をはじめ、周辺路線の電柱電線類地中化、美装化、隣接する城山公園の再整備等を実施し、良好な景観形成を図るとともに、歩道拡幅により参拝者の安全及び回遊性の向上が図られ、善光寺御開帳における歴史的風致の維持及び向上に寄与している。

④ 今後の対応

引き続き、善光寺周辺の電線類地中化事業、道路美装化事業、城山公園再整備事業を実施し、良好な景観形成を図るとともに、善光寺表参道地域交流拠点整備事業等を実施し、来訪者のアクセス向上及び来訪者に対する歴史文化の情報発信を行う。

また、回向柱の奉納行列が練り歩く松代地区の旧文武学校や旧松代駅舎の整備を進め、良好な景観形成を図る。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
歴史的風致	2 弥栄神社の御祭礼にみる歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	III 歴史的まちなみと周辺環境の保全 IV 伝統的な祭礼等の継承 V 文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光振興や情報発信 VI 歴史的建造物やまちなみ、伝統的な祭礼等の調査研究		

① 歴史的風致の概要

善光寺門前の弥栄神社では、毎年7月初旬に祇園祭が行われる。郷土の匠によって制作された屋台が祇園祭をより一層華々しく彩る。

② 維持向上の経緯と成果

● 弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業

弥栄神社の御祭礼で曳き回される各町で保管している屋台や祭礼用具の組立及び解体、補修等に対して補助金を交付することで、巡行する屋台が一定数確保され、祭りが華やかに彩られ、賑わいが増している。

● 善光寺周辺道路美装化事業

弥栄神社の御祭礼の会場となる、善光寺門前の仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの6路線（計画延長940m）内4路線（540m）について、電線類地中化事業を行い、善光寺周辺における良好な景観形成を推進した。

● 中央通り歩行者優先道路化事業

弥栄神社の御祭礼で屋台を巡行する善光寺の参道である中央通り（●m）について、参道の雰囲気に合わせて石畳舗装を行い、歩道の拡幅を行うことで、道路空間の魅力が向上した。



H22.6



中央通り歩行者優先道路化 H27.4

③ 自己評価

弥栄神社の御祭礼で屋台巡行のメイン通りとなる中央通りの歩行者優先道路化事業や善光寺周辺道路美装化事業を行うことで、沿道空間の確保及び景観の向上を図った。また、屋台の保管状況等について調査をするとともに、屋台巡行に係る支援を行い、曳き回される屋台を確保し、弥栄神社の御祭礼における歴史的風致の維持及び向上に寄与している。



弥栄神社の御祭礼屋台巡行 H29.7

④ 今後の対応

巡行屋台を一定数確保するため、屋台や祭礼用具の組立及び解体、補修等に対する支援を引き続き実施していくとともに、歴史を有する祭礼の主要な行事である屋台巡行の担い手確保や後世への継承を図るため、情報発信を推進する。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
歴史的風致	3 善光寺周辺寺社の祭礼にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	IV 伝統的な祭礼等の継承 V 文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光振興や情報発信 VI 歴史的建造物やまちなみ、伝統的な祭礼等の調査研究		

① 歴史的風致の概要

善光寺周辺には、善光寺三社（湯福神社、妻科神社、武井神社）をはじめ、歴史ある神社仏閣が点在しており、茅の輪くぐりや御射山祭、御柱祭などの地域色豊かな祭礼が受け継がれている。

② 維持向上の経緯と成果

● 伝統芸能継承事業

祖先の優れた文化活動の所産であり、長い年月の間に大切に守られてきた郷土の伝統芸能を後世に継承する団体に対し伝統芸能に用いる用具の修理・更新、子供用具の購入等に必要経費の一部について助成を行い、保存・継承が図られた。

● 中央通り歩行者優先道路化事業

善光寺を訪れる人が、善光寺三社をはじめとした善光寺周辺に点在する神社仏閣を訪れる際にアクセスの要路となる善光寺の参道である中央通り（●m）について、善光寺の参道の雰囲気に合わせて石畳舗装を行い、歩道の拡幅を行うことで、道路空間の魅力が向上した。

● 善光寺表参道地域交流拠点整備事業

善光寺表参道に面し、善光寺三社をはじめとした善光寺周辺に点在する神社仏閣へのアクセスにも便利な場所に、地元住民や観光客のための地域交流拠点として、善光寺周辺の歴史文化の情報発信を行う場の整備を進めている。



H21.6



無電柱化・道路美化化 H28.5

③ 自己評価

善光寺周辺寺社を結ぶ善光寺参道や宿坊界隈の通りの景観が向上し、回遊性の向上に寄与しているとともに、郷土の伝統芸能に用いる用具等を修理することで、より良い形で後世に継承されているものの、善光寺周辺寺社の祭礼等を包括した情報発信については十分とは言えない。



善光寺表参道地域交流拠点の整備状況 R1.12

④ 今後の対応

引き続き、善光寺周辺の電線類地中化事業、道路美装化事業を実施し、良好な景観形成を図るとともに、善光寺表参道地域交流拠点整備事業等を実施し、来訪者のアクセス向上及び来訪者に対する歴史文化の情報発信を行う。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
歴史的風致	4 戸隠神社の式年大祭にみる歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的建造物の保全と活用 II 伝統技術の継承 III 歴史的まちなみと周辺環境の保全 IV 伝統的な祭礼等の継承 V 文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光振興や情報発信 VI 歴史的建造物やまちなみ、伝統的な祭礼等の調査研究		

① 歴史的風致の概要

戸隠神社では、数え年で7年に一度、式年大祭が行われる。期間中は、中社・宝光社間の神輿渡御をはじめ、宣澄踊りなどの様々な伝統行事が催される。

② 維持向上の経緯と成果

●無形文化財支援事業

戸隠神社式年大祭において行われる宣澄踊りは、市無形民俗文化財に指定されている。文化財の記録作成等の保存・公開に必要な経費の一部について助成を行うことで、伝統文化の保存・継承が図られた。

●戸隠地域建造物修理修景助成事業

戸隠伝統的建造物群保存地区内の宿坊や民家等を保存計画に定められた基準に基づき修理及び修景を行う場合、経費の一部を助成し、実施に際しては、文化庁及び長野市伝統的建造物群保存地区保存審議会の指導、助言を受けている。この事業により、祭礼の舞台である歴史的なまちなみが整備され、祭礼とまちなみが一体となって歴史的風致を醸し出している。

●戸隠地区伝統的建造物群保存対策調査事業

伝統的建造物群保存対策調査により、戸隠中社・宝光社地区における歴史的町並みの価値が明らかとなり、伝統的建造物群保存地区の決定、重要伝統的建造物群保存地区の選定に至った。これにより、歴史的なまちなみが適切に保存されるとともに、祭礼の舞台である歴史的町並みの整備が推進され、歴史的風致維持向上に寄与している。



H26.4



建造物修理事業 H26.11

③ 自己評価

伝統芸能への助成とともに歴史的建造物の修理を行うことで、伝統技術の継承と良好な景観形成が図られ、式年大祭の期間中は地区内外から多くの参拝者が訪れて盛り上がりを見せている。平時においてはもとより祭礼の場として相応しいまちなみとなり、祭礼と場とが一体化した質の高い歴史的風致を創り出している。



戸隠神社式年大祭 渡御の儀 H27.4

④ 今後の対応

国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、妙高戸隠連山国立公園の一部にもなっている中社・宝光社地区の歴史的な町並み景観を向上させるため、戸隠地域建造物修理修景助成事業を引き続き進めていくとともに、周囲の歴史的建造物に調和した道路美装化事業や眺望景観を向上させる電柱電線類移設事業を実施し、歴史的風致の維持向上を図る。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
歴史的風致	5 戸隠信仰と戸隠古道にみる歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的建造物の保全と活用 II 伝統技術の継承 III 歴史的まちなみと周辺環境の保全 V 文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光振興や情報発信 VI 歴史的建造物やまちなみ、伝統的な祭礼等の調査研究		

① 歴史的風致の概要

江戸時代以前より多くの人々が訪れた善光寺と戸隠神社の間には、双方を行き交うための古道が今も残っている。この道は、地域住民による日常の維持管理活動によって、今も良好な状態に保たれている。

② 維持向上の経緯と成果

● 戸隠古道現状調査事業

善光寺と戸隠とを結ぶ信仰の道である戸隠古道について、その歴史文化の情報を発信し、より歩きやすい道として整備するため、現状の調査を行った。この調査により、善光寺との広域にわたる歴史的関連性を中心に、良好な歴史的風致の存在を明らかにした。



H26.4

● 戸隠地域建造物修理修景助成事業

戸隠信仰や戸隠古道に深く関わる戸隠伝統的建造物群保存地区内の宿坊や民家等を保存計画に定められた基準に基づき修理及び修景を行う場合、経費の一部を助成し、実施に際しては、文化庁及び長野市伝統的建造物群保存地区保存審議会の指導、助言を受けている。歴史的なまちなみが整備され、祭礼とまちなみが一体となって歴史的風致を醸し出している。



建造物修理事業 H27.11

● 茅場整備事業

「信仰の道」として多くの参詣者が往来していた戸隠古道の周辺には茅葺屋根の歴史的建造物が多く残るため、茅材確保を目的として地元住民を中心に学生や市民ボランティアの手で茅刈りを行い、歴史的建造物を適切に維持保全することで歴史的風致の維持向上に寄与している。



戸隠古道大ウオーク H30.5

③ 自己評価

文化庁による「歴史の道百選」に選定された戸隠古道は地域住民による日常の維持管理活動によって、今も良好な状態に保たれており、古道を歩き戸隠神社を参拝するイベントには多くの人が参加している。また、古道周辺の歴史的建造物の適切な修理を行うことで、良好な景観形成が図られるとともに、伝統技術の継承が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与している。

④ 今後の対応

戸隠信仰と戸隠古道に深く関わる中社・宝光社地区の歴史的な町並み景観を向上させるため、戸隠地域建造物修理修景助成事業を引き続き進めていくとともに、周囲の歴史的建造物に調和した道路美装化事業や眺望景観を向上させる電柱電線類移設事業を実施していく。

また、多くの人に古道の歴史的価値について認識してもらい、歩いてもらえるよう、効果的な情報発信を行う。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
歴史的風致	6 水路と庭園にみる松代城下町の歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I 歴史的建造物の保全と活用 II 伝統技術の継承 III 歴史的まちなみと周辺環境の保全 VI 歴史的建造物やまちなみ、伝統的な祭礼等の調査研究		

① 歴史的風致の概要

北を千曲川、残り三方を急峻な山々に囲まれた松代城下町では、江戸時代より武家屋敷地を中心に独自の水系システムが発達し、泉水を中心とする庭園や泉水と泉水をつなぐ水路網が、現在も残されている。かつて食器の洗浄や養鯉などに利用された庭園の泉水は、現在も防火用水や畑への散水など、生活に適応した利用がなされており、地形を活かした歴史的庭園群と地域住民による保全活動によって、貴重な歴史的風致が形成されている。

② 維持向上の経緯と成果

● 伝統環境保存事業

江戸時代の武家屋敷地であり、往時の地割や建物、松代特有の水路網や泉水のある庭園が良好に残る4町（表柴町、代官町、馬場町、竹山町）の伝統環境を保存するため、区域内で行われる伝統環境の修理・修景に対して助成を行い、歴史的風致を形成する建造物・庭園等を維持保存することができた。



石組水路の改修
（H30伝統環境保存事業）

● 松代城下町歴史的建造物・庭園調査事業

松代地区の歴史的建造物や庭園・泉水等を保全し、歴史的資源を活かしたまちづくりを行うため、地区に残る歴史的建造物、庭園・水路等の現況調査を行い、管理活用方法を提案した。この調査成果を基に、松代地区内での登録文化財が増加しており、地元と行政とが一体となった保存活用の方策を検討している。



「お庭拝見」の様子

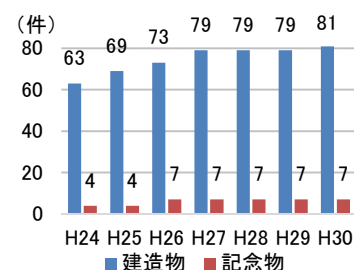
● 松代歴史文化の発信・誘客事業

城下町の「お庭拝見」イベントの開催など、地域住民で構成する「NPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」が、庭園・水路等のまち歩き推進、情報発信事業を進めており、地元住民及び来訪者に対する松代城下町の歴史的風致の理解促進につながった。

③ 自己評価

松代城下町特有の水路・庭園にみる歴史的風致を継承するため、伝統環境保存事業を実施するとともに、その認知度を上げるために調査、情報発信、誘客事業を実施している。

事業により一定の効果は挙がっている一方、開発による伝統環境の滅失や空家化する事例も増えており、地元住民と勉強会を開催し、良好な歴史的景観を維持する方策を検討している。



松代地区登録文化財件数の推移

④ 今後の対応

地元住民の理解と協力のもと、松代城下町の歴史的景観の維持向上を図るための新たな手法の導入を検討する。

また、貴重な城下町の庭園群や水路網、地元住民による水利用の営みなどを多くの人に知ってもらうための効果的な情報発信を行い、外国人観光客や移住希望者などを含めた交流人口を増やし、地域の活性化と歴史的風致の維持向上を図る。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
歴史的風致	7 祭礼にみる松代城下町の歴史的風致	状況の変化	向上
対応する方針	I 歴史的建造物の保全と活用 IV 伝統的な祭礼等の継承 V 文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光振興や情報発信		

① 歴史的風致の概要

松代城下町では、江戸時代から続く代表的な祭礼として、毎年7月に祇園祭が行われている。祭では、玉依比売命神社に奉納されている神輿が町内を巡行し、町屋を中心に勢獅子の舞が繰り広げられる。数多くの歴史的建造物が残る町屋を舞台とする祇園祭は、江戸時代の絵巻物を彷彿させ、松代城下町の風情を現代に伝える重要な歴史的風致である。

② 維持向上の経緯と成果

● 松代地域道路美装化事業

旧松代藩の城下町である松代の中心市街地は、江戸時代から続く祇園祭の神輿巡行の舞台である。城下町にふさわしい歴史的景観とするために周囲の歴史的建造物に調和した歩車道の美装化（計画延長600m内実施済み484m）を行った結果、景観が向上し、城下町の祭礼と歴史的まちなみが一体化した歴史的風致の向上に寄与している。



H28.5



道路美装化の様子 H28.12

● 松代地域耐震性貯水槽整備事業

玉依比売命神社周辺の防火対策として、耐震性貯水槽1基（60㎡）を設置した結果、歴史的建造物の防火対策が充実し、歴史的風致の維持に寄与した。

● 松代歴史文化の発信・誘客事業

NPO法人夢空間 松代のまちと心を育てる会が、まち歩き推進事業、情報発信事業を行っており、祇園祭等の城下町の祭礼についても地区内外へ情報発信をしている。これにより、松代城下町への関心を高め、観光振興に役立っていることが、歴史的風致の維持及び向上に寄与している。

③ 自己評価

玉依比売命神社の防災対策を施したほか、祇園祭の神輿巡行の舞台となる道路の美装化を行い、祭礼を引き立たせている。

また、祭礼の情報発信を行い、歴史的風致の維持向上を図った。

しかし、魅力的・効果的な情報発信が行われているとは言えず、地区外の認知度は必ずしも高くない。



祇園祭 勢獅子の様子

④ 今後の対応

祇園祭を中心とした歴史的風致について、インバウンドを含む多様な観光客に対して、より魅力的で効果的な情報発信の方法を検討をし、実施する。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
歴史的風致	8 大室古墳群にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	V 文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光振興や情報発信 VI 歴史的建造物や伝統的な祭礼等の調査研究		

① 歴史的風致の概要

大室古墳群は、石を積み上げて墳丘とした「積石塚」や天井石を屋根形に組み合わせた「合掌形石室」が集中する特徴的な古墳群であるうえ、総数500余基を数える東日本屈指の大古墳群である。これらは、大正時代より、大室地区の地元住民を中心とした保存会によって、保存・継承されている。

② 維持向上の経緯と成果

● 地元団体による情報発信・誘客事業

大室古墳群保存会が中心となって10月第3日曜日に「大室古墳群まつり」が開催されるようになり、地元住民にとっては古墳群の再認識の場となり、地元外の市民にとっては来訪のよい機会となっていて、歴史的風致の維持向上に寄与している。



大室古墳群まつり H30.10
火おこし体験

● 史跡大室古墳群保存整備事業

積石塚古墳・合掌形石室が密集して分布する遺構復元整備ゾーンの古墳を修理するなどして保存・継承するとともに、周辺の自然環境を保全し、園路や説明板等の便益設備を整えて利便性を高め、一般市民による利活用に加えて学校教育や生涯学習の場として供することで、歴史的風致の維持向上に寄与している。



エントランスゾーンの H26.5
整備状況

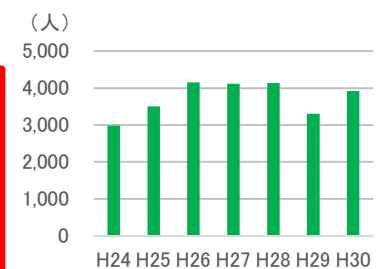
● 大室古墳群アクセス道路整備事業

整備が完了したエントランスゾーンやガイダンス施設「大室古墳館」を拠点に、史跡の保存や利活用を図っているが、史跡までの道路幅が狭く、大型バスの進入ができない状態となっている。史跡の保存活動や利活用を促進して歴史的価値の周知をさらに進めていくために、地元のアクセス道路対策委員会と協力して、アクセス道路の整備を進めている。

③ 自己評価

史跡保存整備は計画通り進めているが、アクセス道路整備の完了にはまだ時間がかかる状況である。

来訪者数はここ数年4,000人前後で推移しているが、アクセス道路が未整備の現状を考慮すると、潜在的な来訪希望者は少なくないと見込まれ、道路整備を進めつつ、歴史的価値の認知度をさらに高めていく必要がある。



大室古墳館の入館者数の推移

④ 今後の対応

アクセス道路整備事業について、地元住民・地権者からの同意を得て、できるだけ早く実現するとともに、大室古墳群の多彩な魅力を掘り起こして、情報発信を行っていく。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
歴史的風致	9 街道と川田宿にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I 歴史的建造物の保全と活用 IV 伝統的な祭礼等の継承 V 文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光振興や情報発信		

① 歴史的風致の概要

北国街道松代道の宿場の一つである川田宿には、旧本陣の西澤家住宅を始め、今も当時の宿場町の町割りが残っている。川田宿では、古くからの秋葉信仰に加え、数え年で7年に一度ごとに町川田神社で御柱祭が行われており、活気あふれる宿場町の風情が伝えられている。

② 維持向上の経緯と成果

● 川田宿PR活用事業

川田宿を訪れる観光客に川田宿の歴史的町並みや伝統文化を広くPRするため、川田宿ガイドの会が主体となり、案内ガイドの実施やまち歩きガイドマップの作成を行い、ガイド活動を行っている。また、川田宿音頭をつくり川田宿の歴史文化のPRに資するとともに、地元中学生への講習を行うことで、歴史的風致の維持向上に貢献している。



川田宿ガイドの会による活動

● 旧信濃川田駅保存整備事業

地域における歴史的建造物である旧長野電鉄屋代線信濃川田駅の駅舎を、川田宿の歴史を伝える資料館及び来訪者に対する案内拠点として利活用するため、内部改修と外観修景を計画しており、具体的な活用・管理方法等について地元と市が協議をしている。地元住民が壁面塗装や花壇整備を行った。



駅舎の活用・管理方法の協議

③ 自己評価

川田宿ガイドの会が、来訪者に対するガイド技術の向上を図り、ガイドを行っているほか、パンフレットを作成してPRしており、地元住民による歴史的風致の維持向上のための活動が展開されているが、歴史的風致に関する認知度は高いとは言えない。川田宿の活用方法などについて、具体化していない。



住民による駅舎壁面塗装の様子

④ 今後の対応

川田宿を活用する目的や方法について、地理的に隣接し歴史的なつながりの深い松代地区との関連性に焦点を当て面的な事業展開を視野に入れながら協議を活発化させ、歴史的風致の維持及び向上に資する具体的な活動を創り出す。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
歴史的風致	10 白髯神社と祭礼にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	IV 伝統的な祭礼等の継承 V 文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光振興や情報発信		

① 歴史的風致の概要

白髯神社では、毎年春と秋に伝統的な祭礼が催されている。祭礼の中心的な祭事である神楽巡行では、明治時代以降の蚕室型民家の中を神楽が曳き出されて祭りを盛り上げている。

② 維持向上の経緯と成果

● 鬼無里地域の伝統的祭礼等PR事業

鬼無里観光振興会により、白髯神社の祭礼についてホームページやSNSにより情報発信を行うとともに、公益財団法人ながの観光コンベンションビューローにより、鬼無里地区の文化財等をめぐる体験型ツアーが開催された。その結果、白髯神社の祭礼を含めた情報が発信され、地元住民のみならず来訪者で賑わいを見せた。



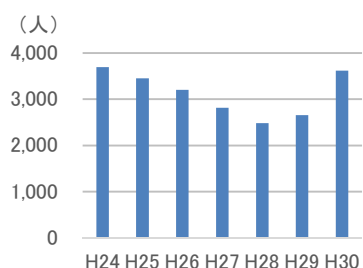
白髯神社春祭りの様子 H30.5

● 「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業

白髯神社の神楽は、彫工北村喜代松の手による精緻な彫刻が施され、市有形文化財(工芸品)に指定され、鬼無里ふるさと資料館において展示し、優れた技術の情報発信をしている。



広報ながの掲載記事 R1.9



鬼無里ふるさと資料館の入館者数の推移

③ 自己評価

ホームページやSNSにより白髯神社の祭礼について情報発信をし、毎年定期的に伝統的な祭礼が催されており賑わいを見せてはいるが、認知度は高いとは言えず、地域の歴史的風致の維持向上に効果的な事業を検討する必要がある。

④ 今後の対応

効果的な情報発信の方法・内容を検討し実施することで、より多くの人々が白髯神社及び祭礼に興味関心を持ち訪れてもらい、歴史的風致の維持向上を図る。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
歴史的風致	11 鬼無里神社の祭礼と町家にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	I 歴史的建造物の保全と活用 II 伝統技術の継承 III 歴史的まちなみと周辺環境の保全 IV 伝統的な祭礼等の継承 V 文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光振興や情報発信		

① 歴史的風致の概要

鬼無里神社では、毎年5月初旬に精巧な彫刻を特徴とする屋台が曳き出されて、春祭りが行われる。屋台は、交通の要衝として栄えた歴史的町並みの中を練り歩いて、かつての繁栄を偲ばせている。

② 維持向上の経緯と成果

●「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業

鬼無里神社の屋台は、彫工北村喜代松の手による精緻な彫刻が施され、市有形文化財（工芸品）に指定されている。鬼無里神社の祭礼において巡行しているほか、平時には鬼無里ふるさと資料館において展示し、名工の優れた技術について情報発信をしている。

●コーディネーター派遣事業

鬼無里神社の祭礼において巡行している「彫工北村喜代松」制作の屋台について、柱にひびが入っているなど屋台巡行に関して住民が不安に感じていることがあり、屋台巡行が危ぶまれていたが、修理方法等について専門家から意見を聞いたことで修理することを決断し、屋台巡行を継続できるようになった。

●松巖寺観音堂・経蔵保存修理事業

鬼無里神社の祭礼において屋台巡行のルート沿いに位置する松巖寺の観音堂・経蔵は、市有形文化財及び歴史的風致形成建造物に指定されているが、老朽化等による損傷と後世の改変が著しい状況であった。その観音堂・経蔵を保存修理すると共に、当初に近い姿へ復原整備を行ったことにより、歴史的風致が向上した。



H28.6



松巖寺経蔵の様子 H29.12

③ 自己評価

地域の文化財である「彫工北村喜代松」制作の屋台を活用した祭礼が毎年定期的で開催され、来訪者にも曳き手として参加してもらうことで、名工の優れた技術を広く発信することができた。また、屋台巡行を継承するため専門家を派遣して地域住民の主体的な検討を支援したほか、巡行ルート沿いの歴史的建造物を保存修理など、歴史的風致の維持及び向上を図った。



屋台状況調査の様子

④ 今後の対応

郷土の名工である「彫工北村喜代松」制作の神楽・屋台の認知度を高め、より多くの人々が鬼無里神社の伝統的祭礼へ訪れてもらえるよう、効果的な情報発信の方法・内容を検討し実施する。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
歴史的風致	12 諏訪神社の御柱祭にみる歴史的風致	状況の変化	維持
対応する方針	IV 伝統的な祭礼等の継承 V 文化財や伝統的な祭礼等を活用した観光振興や情報発信		

① 歴史的風致の概要

諏訪神社では、数え年で7年に一度の寅と申の年に御柱祭が行われており、地域固有の伝統的な祭礼が今も受け継がれている。

② 維持向上の経緯と成果

● 鬼無里地域の伝統的祭礼等PR事業

鬼無里観光振興会により、諏訪神社の御柱祭についてホームページで情報発信を行い、地元住民のみならず来訪者も里曳きに参加し、賑わいを見せた。



諏訪神社御柱祭の様子 H28.5





鬼無里振興会によるホームページでの紹介

③ 自己評価

諏訪神社では数え年で7年に一度、鬼無里地区では唯一、御柱祭を行っており、SNS等により情報発信をすることで、賑わいを見せてはいるが、認知度は高いとは言えず、地域の歴史的風致の維持向上に効果的な事業を検討する必要がある。

④ 今後の対応

より多くの人に諏訪神社及び祭礼に興味関心を持ち訪れてもらうため、効果的な情報発信の方法・内容を検討し実施する。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年						
<p>① 庁内組織の体制・変化</p> <p>計画の実施に当たり、都市整備部都市政策課歴史的まちなみ整備室と教育委員会事務局文化財課による事務局を設け随時事務局会議を実施して、基礎的な計画の円滑な実施のための協議を行っている。</p> <p>事務局会議の中で特に必要がある場合には、個別の事案に応じて随時にコアメンバ会議などを組織して対応するケースもある。</p> <p>事務局会議で決定した方針に基づき、庁内関係課で構成する「歴史まちづくり推進会議」を年2回実施し、（第1回は24課、第2回は10課で構成）全庁挙げて歴史まちづくりを推進する体制を採っている。各課の事業展開と当計画との関連性等により、参画課を適宜増やしている。</p> <p>また、景観・屋外広告物に関する事業を統括する都市政策課景観担当と年2回程度協議を行い、問題点の洗い出し及び解決に向けた検討を行っている。当初は都市政策課内の歴史的まちなみ整備室と景観担当の2担当で開催していたが、対象案件に応じて都市政策課都市計画担当及び文化財課にも協力を要請するなど、適宜参画部局を増やして実施するなど、柔軟に運用している。</p> <p>歴史的風致維持向上計画の策定前と比較し、庁内の情報提供及び協力体制は格段に向上しているものの、計画の達成には更に横断的な連携が必要であるため、目的の周知と協力関係の強化を図る。</p>		 <p>令和元年度第1回歴史まちづくり推進会議の様子</p>  <p>令和元年度第1回事務局会議の様子</p>							
<p>② 庁内の意見・評価</p> <p>庁内関係課による「歴史まちづくり推進会議」の参画課にアンケートを行い14課から回答を得た。</p> <p>質問1：「計画に位置付けた事業はあるか。」</p> <p>結果： ある 9 ない 5</p> <p>質問2：「(1)で「ある」と回答した場合、計画に記載されたメリットはあると思うか。その理由は。」</p> <p>結果：</p> <table border="1" data-bbox="220 1420 678 1532"> <tr> <td>ある</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>ややある</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ほとんどない</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>「ある」又は「ややある」の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合ビジョンとの整合が図れ、目標が明確になる。・事業推進の指針となる。 ・課題共有により解決のヒントとなる。 ・補助金が利用できる。 <p>「ほとんどない」の理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金、起債等のメリット無い。 <p>質問3：「効果的に歴史まちづくりを進めるために必要と思うこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信を強化すること。（地域において中心となる人を選定し情報共有すること。） ・地域住民の意見を反映させること。 ・地域住民・NPOへの支援策を拡大すること。 ・庁内全体の更なる情報共有と連携、地区ごとの連携（地区事業について担当課の打ち合わせ） ・各事業が関連性をもち、相乗効果が出るようにすること。 ・順調でない事業について、協議会メンバーによる協議を通じて問題解決の糸口を探ること。 				ある	3	ややある	5	ほとんどない	1
ある	3								
ややある	5								
ほとんどない	1								

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
------	-----	--------	---------

① 住民意見

計画における重点区域を構成する9行政区域の住民自治協議会に依頼し、116人を対象に住民アンケートを行ったところ、以下の意見をいただいた。

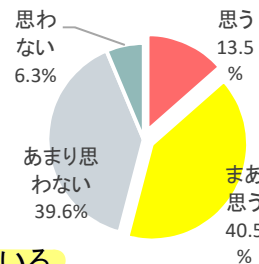
※ 回答数116

複数人で協議の上1通として回答したものは、協議に参加した人数を乗じ、無回答は除いて集計。

質問1：「回答者の地区の歴史的まちなみは良好に保全活用されていると思うか。」

結果：

思う	まあ思う	あまり思わない	思わない
15	45	44	7
13.5%	40.5%	39.6%	6.3%



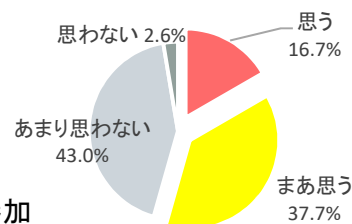
回答の理由(主なもの)

- ・重要伝統的建造物群保存地区への選定・登録文化財の増加、道路整備などにより町並み整備が進み来訪者に喜ばれている。
- ・少子高齢化等による歴史的建造物の滅失が進行しており特に個人所有の財産の保全には課題がある。
- ・住民への理解促進が必要で、歴史的資源の活用や集客対策が不十分。

質問2：「居住する地域の伝統的な祭礼・活動は良好に継承されていると思うか。」

結果：

思う	まあ思う	あまり思わない	思わない
19	43	49	3
16.7%	37.7%	43.0%	2.6%



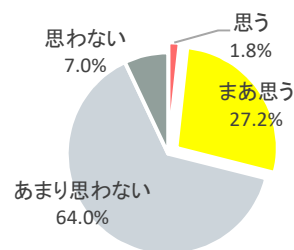
回答の理由(主なもの)

- ・住民の努力によって今のところは継承されているが若手の参加は少なく後継者不足。
- ・役員の負担が大きい。
- ・市が率先して住民に歴史まちづくりへの理解を促進し気運を作り出す必要がある。

質問3：「市民のまちづくりへの関心は高まっていると思うか。」

結果：

思う	まあ思う	あまり思わない	思わない
2	31	73	8
1.8%	27.2%	64.0%	7.0%



回答の理由(主なもの)

- ・行政の諸事業により町並み整備が進み来訪者など外部の評価が高まることで住民の関心が高まっている。
- ・町民あげて祭事を大切にしている。
- ・まちづくりに関する情報が市民全体には行き届いておらず当該計画への理解は高いとは言えない。
- ・歴史的な町並みを観光資源として外部に情報発信する姿勢に乏しい。

質問4：自由記載(主なもの)

- ・市と地域住民のしっかりとした体制づくりが必要。
- ・若年層に向けて積極的に情報発信をして歴史まちづくりへの理解を促すことが必要。
- ・ハード事業に頼らず市民が自主的に活動する気運を引き出すようまちづくりの原点に立ち返ることが必要。

市町村名	長野市	評価対象年度	H25～R元年
<p>① 全体の課題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 歴史的風致維持向上計画が市民に浸透していない。 2 重点区域内でも温度差があり、歴史まちづくりに対する行政と地域の協働体制が確立していない区域がある。 3 歴史的建造物や歴史的まちなみの連続性が失われる事例、伝統的な祭礼の担い手不足等の問題が深刻な状況となっている。 4 観光、インバウンド対策など歴史まちづくりに関連する施策が、関係部局間で十分に情報共有できていない。 			
<p>② 今後の対応</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 計画内容に対する市民理解の向上 <ol style="list-style-type: none"> (1) 歴史まちづくりに関連する行政と地域住民との協働イベントの実施 例) 歴まちシンポジウムの開催など (2) 大学や高等学校など、教育機関と連携した歴史まちづくり理解の推進 例) 茅刈体験学習の開催、寺町商家での郷土料理の提供など (3) 歴史まちづくりを身近に感じてもらうための情報発信方法の検討 例) 長野市版歴まちカードの作成、伝統行事等の情報発信(SNS等)、多言語対応など 2 重点区域内での行政・地域住民の情報交換強化 <ol style="list-style-type: none"> (1) 市民→行政: 各地区の伝統祭礼・歴史的町並み等の情報集約、新たな魅力の掘り起こし (2) 行政→市民: 各地区の施策の進捗状況・課題の説明・理解 (3) 行政&市民: 各地区の長期的な取り組み・役割分担などの検討 3 歴史的まちなみ・伝統的な祭礼の保全・活用を進める市民ネットワークの構築 <ol style="list-style-type: none"> (1) 歴史まちづくりの啓発、地域や世代を超えた意識共有 (2) 重点区域間の地域交流の促進 (3) 区域外からの協力者募集など、持続可能で柔軟な仕組みづくりの検討 4 行政内部の連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・観光、インバウンド対策について、観光部局と都市整備部局、教育委員会が常に情報を共有し、長期的なビジョンと戦略のもと、相互連携した取り組みを推進する。 			